

平成30～32年度

## 23 水産棟・青果棟ネズミ等防除

業務仕様

# 水産棟・青果棟ネズミ等防除仕様書

## 1 業務目的

特定建築物の維持管理等に関し、建築物における衛生的環境の確保に関する法律及びその他の関係法令に基づき、特定建築物である中央卸売市場水産棟及び青果棟内のネズミ・ゴキブリ・チョウバエ・ハエ・カ等の防除を目的とする。

## 2 対象施設

札幌市中央卸売市場水産棟 1 階、3 階、4 階及び青果棟 1 階、2 階

## 3 業務内容

特定建築物維持管理基準に定められたネズミ・ゴキブリ・チョウバエ・ハエ・カ等の防除等を行う。

受託者は定期的に（年 18 回、概ね 3 週間に 1 回）、生息防止点検および薬剤施工を実施する。

設置場所は水産棟卸売場、水産棟仲卸売場、水産棟厨房、青果棟卸売場、青果棟仲卸売場、その他指示する場所とする。場所数は、水産棟 33 箇所、青果棟 34 箇所とする。青果棟の低温売場、分電盤室等の屋内消火器箱設置箇所以外に設置する場合は、適当な箱で薬剤を保護すること。

## 4 使用する薬剤

薬剤は、駆除の目的や使用場所に応じて科学的物理的防除を実施し、また、人畜への毒性等を考慮の上、安全・確実なものを選定して使用すること。

## 5 汚損及び損傷の注意

作業の実施にあたっては、商品・備品・施設等に汚損や損傷を与えぬよう注意し、もし損害を与えた場合は、受託者が責任をもつこと。

## 6 監督者

受託者は、業務遂行を指揮監督するため、監督者及び監督代行者を選任し、委託者に対し、その氏名等を報告すること。

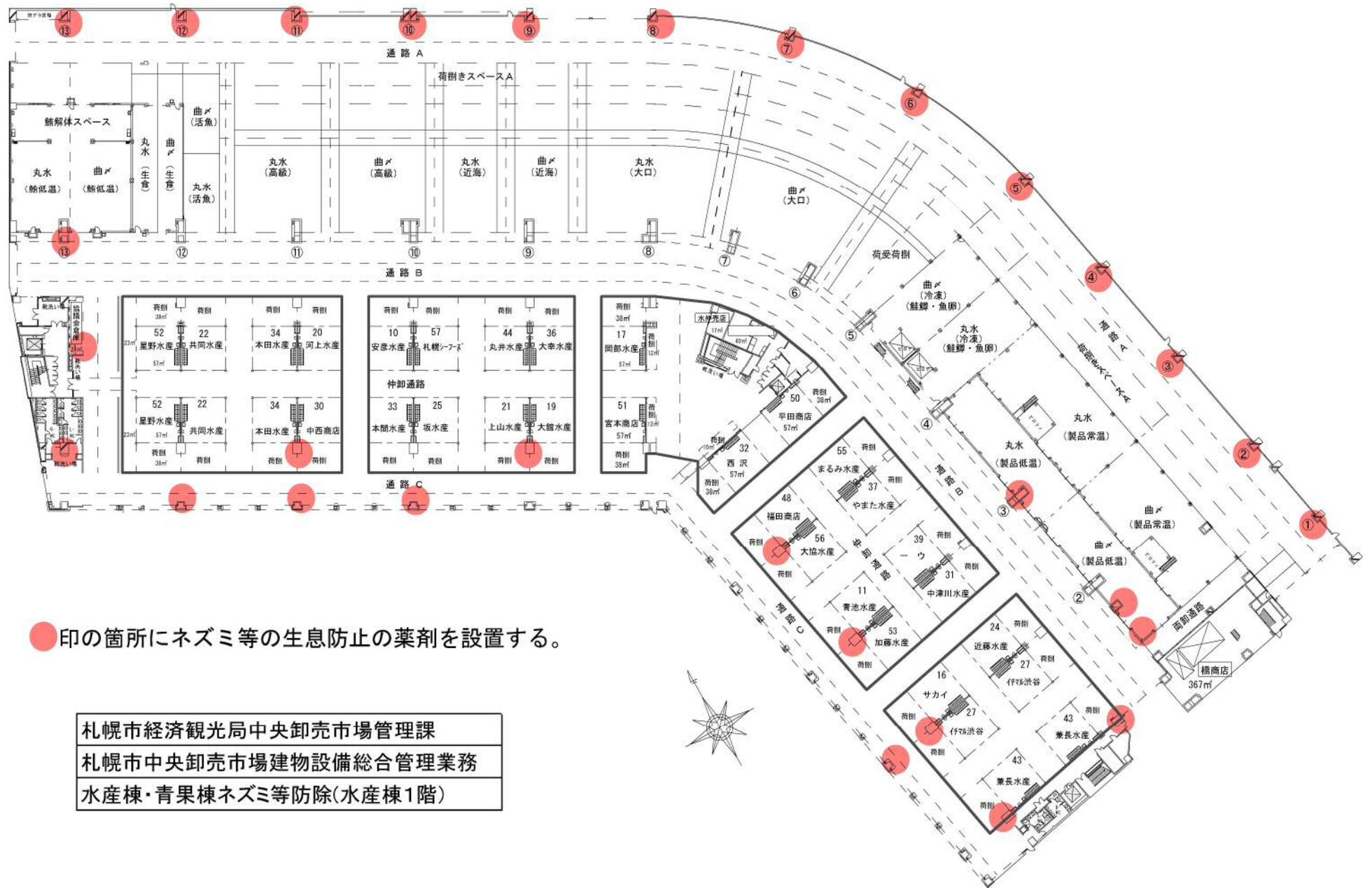
## 7 作業報告

受託者は作業完了後、委託者に対し報告書を提出すること。また、建築物における衛生的環境の確保に関する法律による報告を行うこと。

平成30～32年度

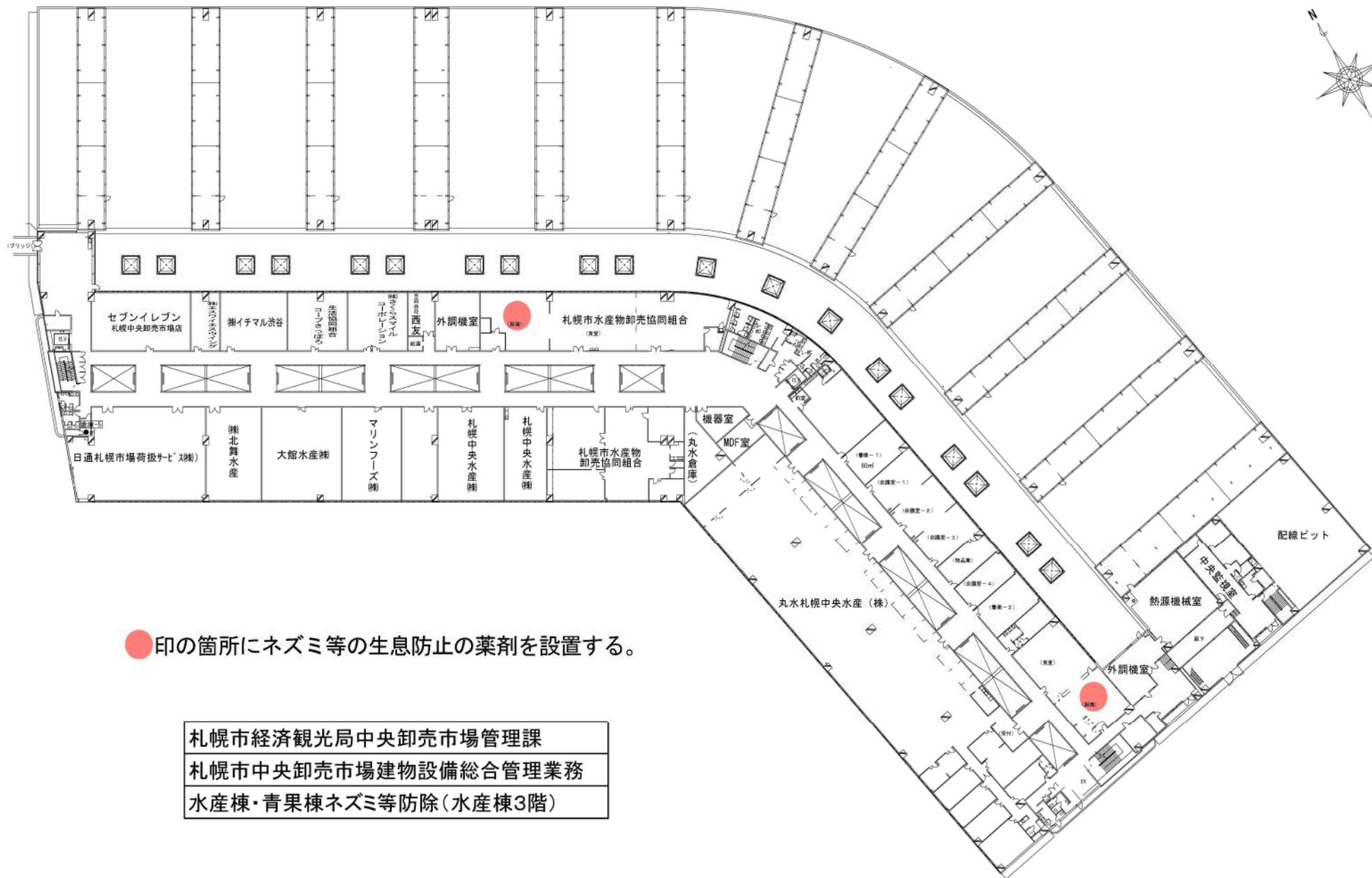
## 23 水産棟・青果棟ネズミ等防除

図面仕様



●印の箇所にネズミ等の生息防止の薬剤を設置する。

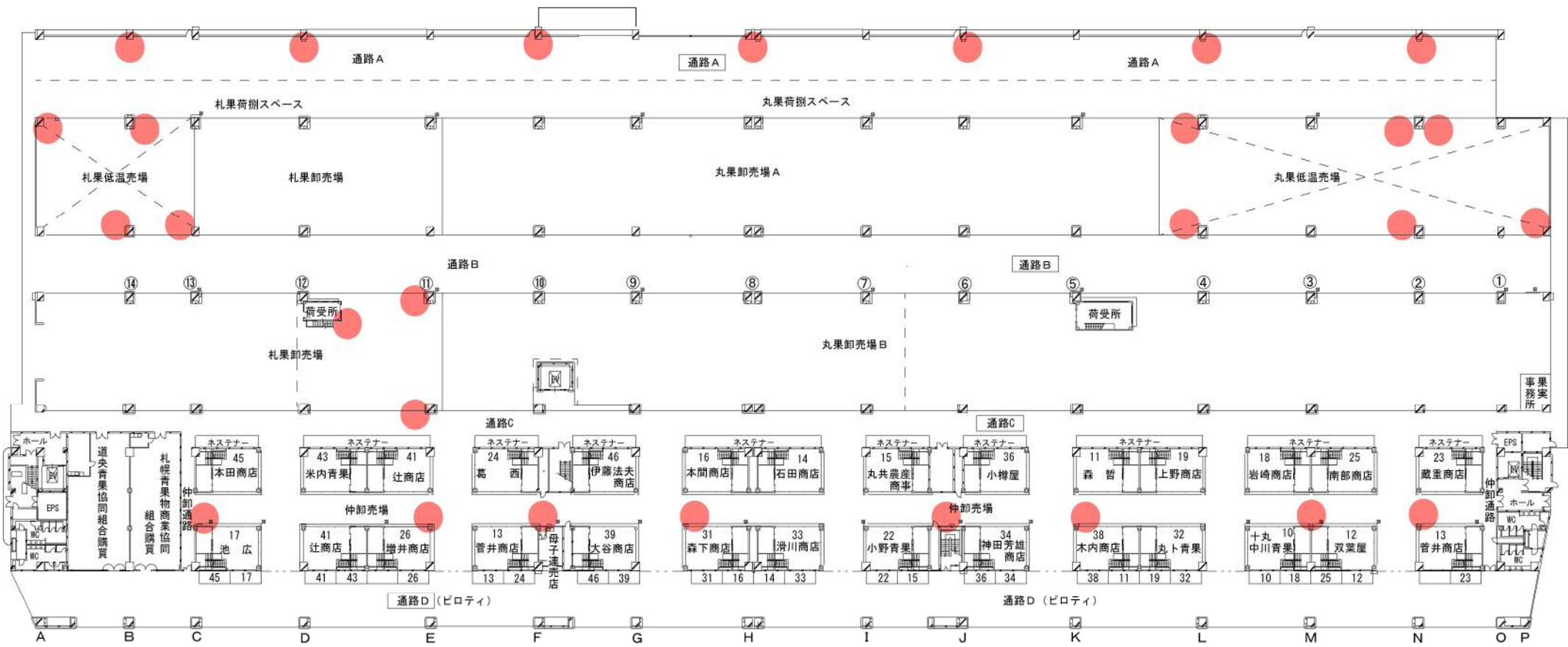
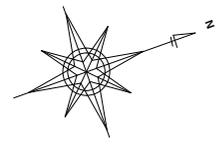
札幌市経済観光局中央卸売市場管理課  
 札幌市中央卸売市場建物設備総合管理業務  
 水産棟・青果棟ネズミ等防除(水産棟1階)



●印の箇所にネズミ等の生息防止の薬剤を設置する。

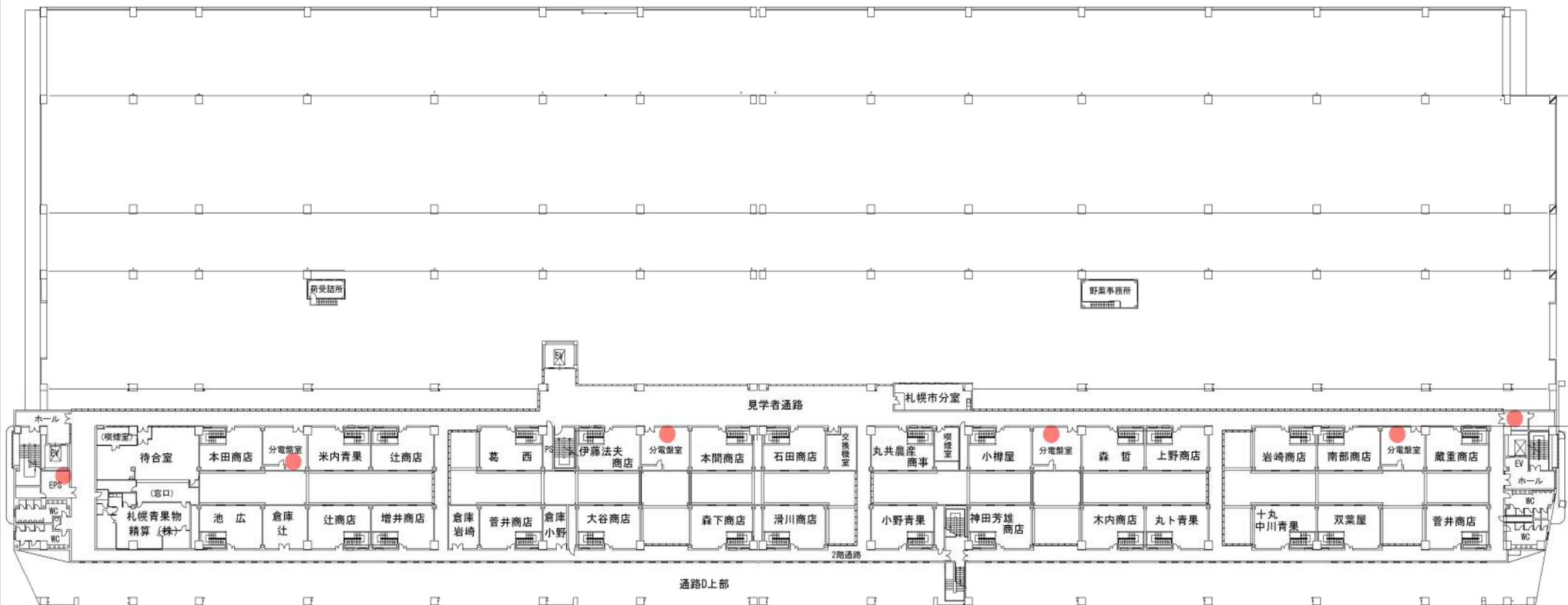
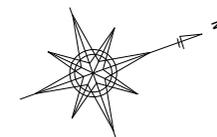
札幌市経済観光局中央卸売市場管理課
札幌市中央卸売市場建物設備総合管理業務
水産棟・青果棟ネズミ等防除(水産棟3階)





●印の箇所にネズミ等の生息防止の薬剤を設置する。

札幌市経済観光局中央卸売市場管理課  
札幌市中央卸売市場建物設備総合管理業務  
水産棟・青果棟ネズミ等防除(青果棟1階)



●印の箇所にネズミ等の生息防止の薬剤を設置する。

札幌市経済観光局中央卸売市場管理課
札幌市中央卸売市場建物設備総合管理業務
水産棟・青果棟ネズミ等防除(青果棟2階)

平成30～32年度

24 水産棟・青果棟トイレ排風機点検清掃

業務仕様

# 水産棟・青果棟トイレ排風機点検清掃仕様書

## 1. 業務目的

水産棟・青果棟のトイレ天井内設置の排風機の性能維持のため点検と分解清掃を行う。

## 2. 業務場所

(1) 施設名：中央卸売市場水産棟・青果棟各トイレ内

内訳	水産棟	北側	1階～4階	男子・女子	4×2=8 (台)
		中央	2階～4階	男子・女子	3×2=6 (台)
		中央	3階～4階	多目的	2×1=2 (台)
		南側	1階～4階	男子・女子	4×2=8 (台)
	青果棟	北側	1階～3階	男子・女子	3×2=6 (台)
		北側	3階	多目的	1×1=1 (台)
		中央	3階	男子・女子	1×2=2 (台)
		南側	1階～3階	男子・女子	3×2=6 (台)

3. 業務台数 業務期間3年のうち水産棟8台/年、青果棟5台/年

## 4. 業務内容

①水産棟：三菱製 BFS-15SUA (2台) 30SUA (6台) 40SUA (4台) 50SUA (3台)  
65SUA (5台) 80SUA (2台) 150SUA (2台) 合計24台

②青果棟：テラルキョウトク製 18CLF02SU (1台) 18CLF05SU (1台) 20CLF2-65SU (5台)  
22CLF2-90SU (1台) 22CLF2-100SU (4台) 25CLF2-120SU (3台) 合計15台

③試運転調整を行い各種機能の正常作動を確認する。

## 5. 提出書類

(1) 業務写真一式 一部

業務報告書 一部

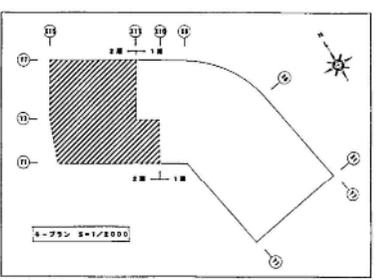
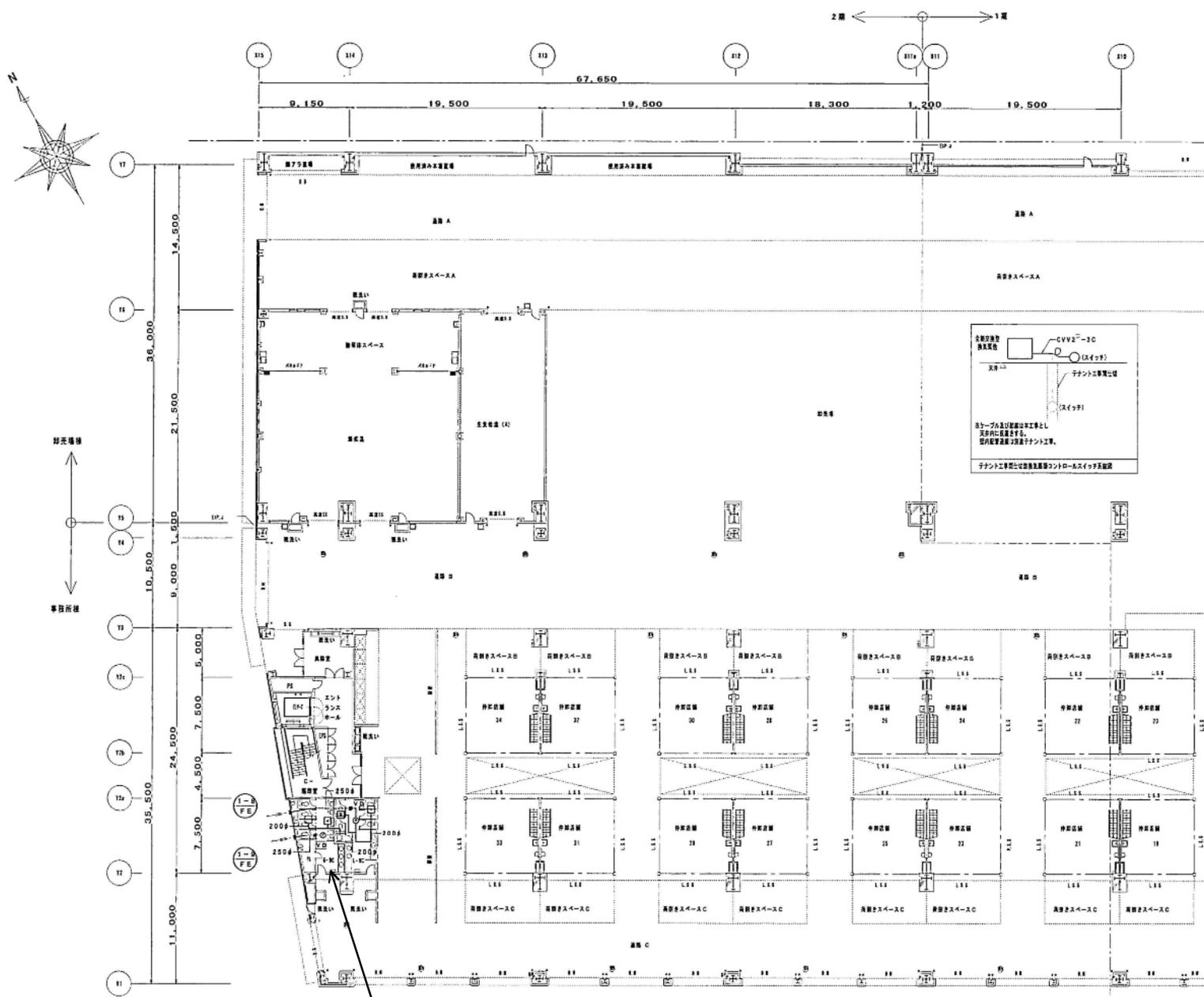
(2) 当初：業務計画書(年工程)

随時：工程表

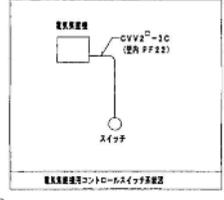
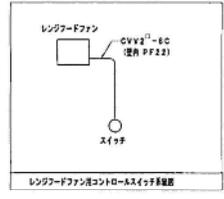
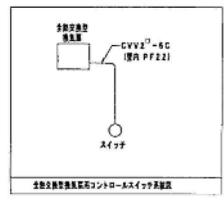
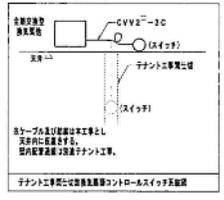
平成30～32年度

24 水産棟・青果棟トイレ排風機点検清掃

図面仕様



男子便所		女子便所	
H/S	300×300	H/S	250×250
303S	450×450	315S	400×400
内装仕様	※Z	内装仕様	※Z

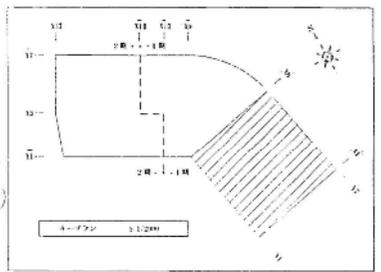
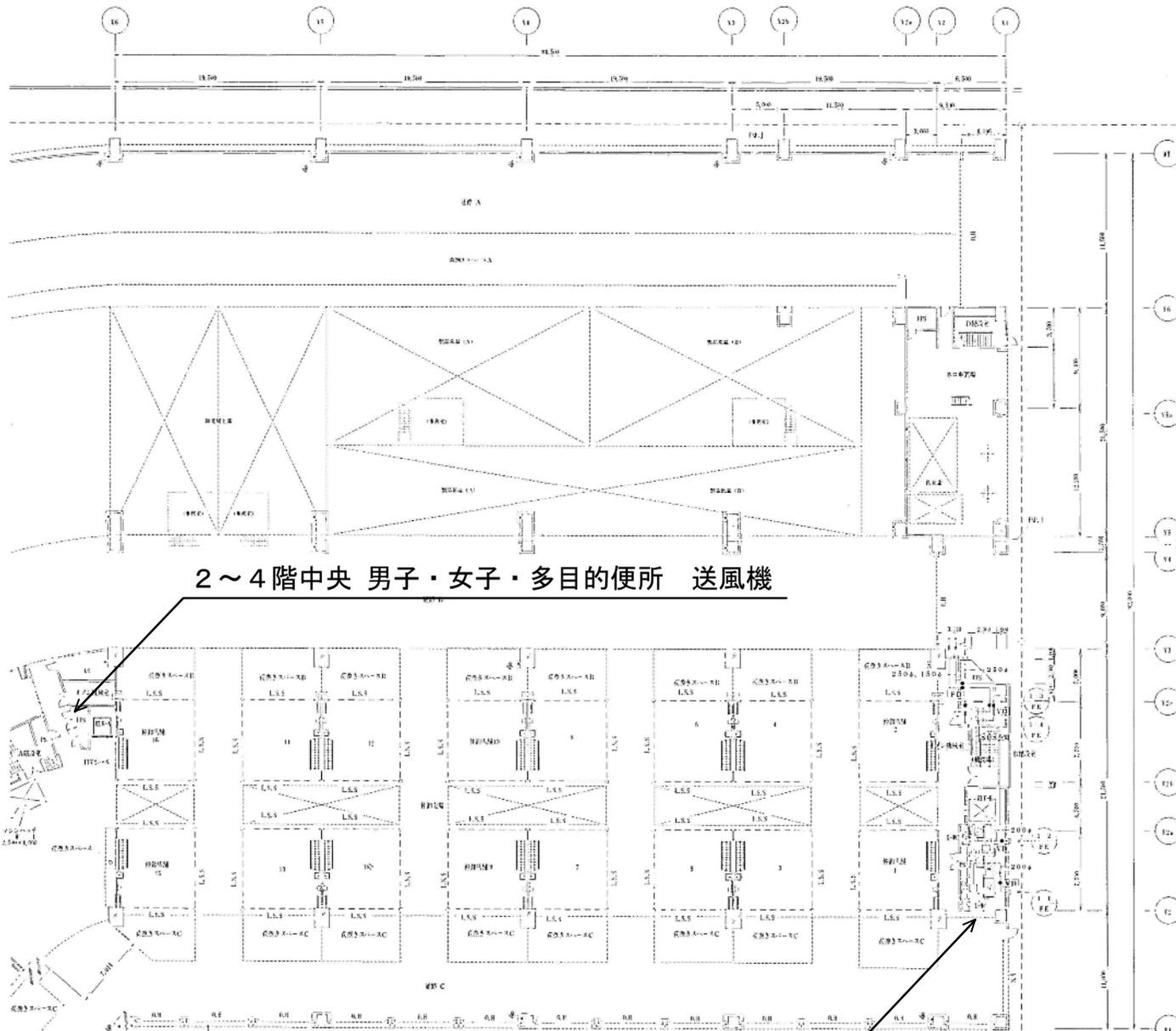


- 凡例**
- ① 全館空調機取付コントロールスイッチ表示。
  - ② 扇形印付ベネチヤンフック(7.6m型、低圧型、高圧・低圧型)表示。
- 注**
1. 配管ダクトは全て露出表示。(送風機取付はSU55ラング上)
  2. 配管ダクトの外径はφ150mmを標準とする。
  3. FE-600系扇形ベネチヤンフックは、HWS010を標準とする。
  - ※ 全館空調機 扇形、ラングーフファン、電気集塵機スイッチ等取付は本工事とする。

**水産棟**  
1階単独階 S=1:200

1階北男子・女子便所 送風機 2～4階共通

札幌市経済観光局中央卸売市場管理課  
札幌市中央卸売市場建物設備総合管理業務  
水産棟・青果棟トイレ排風機点検清掃



2～4階中央 男子・女子・多目的便所 送風機

1階南男子・女子便所 送風機 2～4階共通

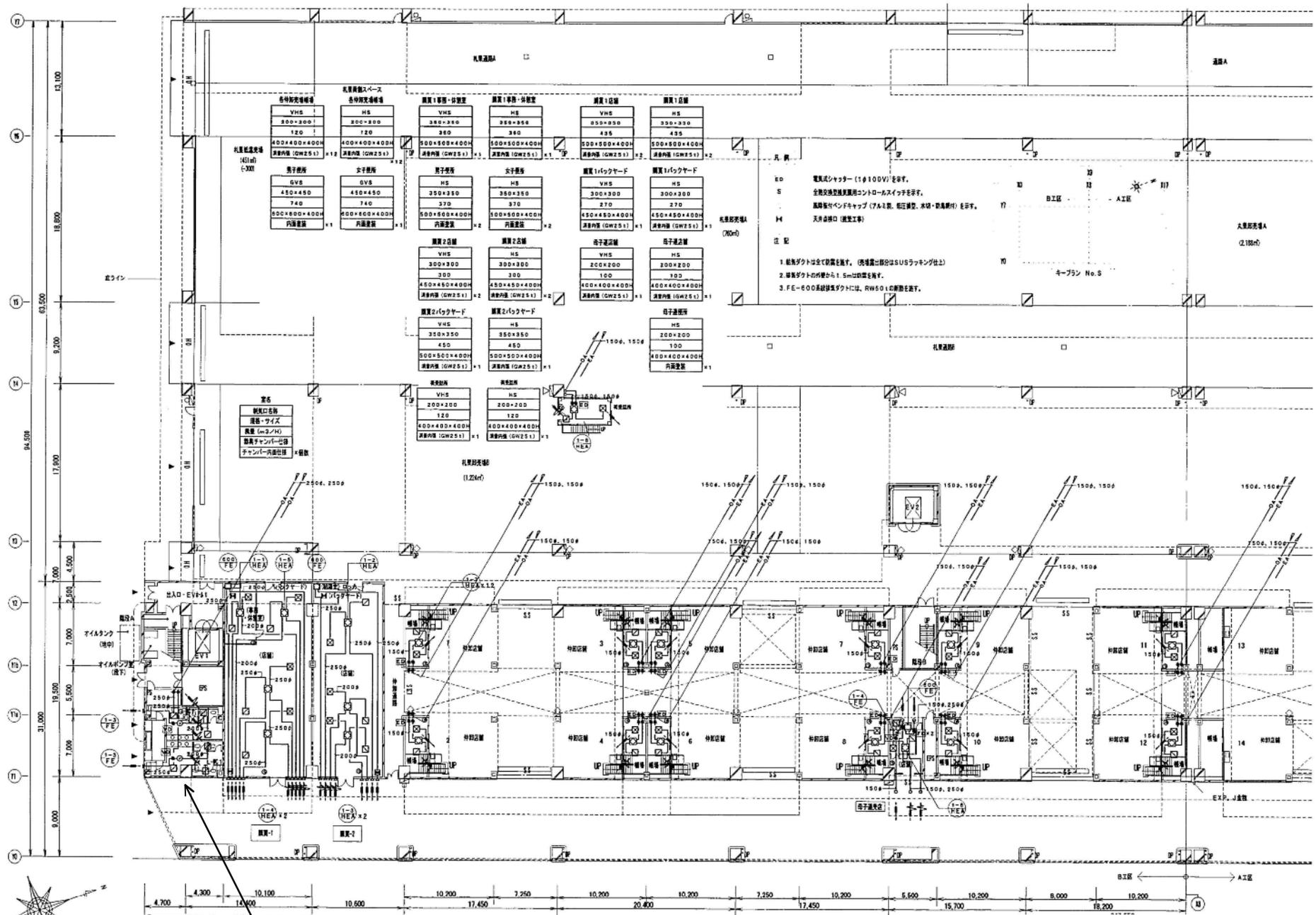
水産棟

男子便所	女子便所
HS	HS
200×200	150×150
100	100
100×400×400H	100×250×350H
内照付法	内照付法
×2	×1

男子便所	女子便所
HS	HS
200×200	150×150
100	100
100×400×400H	150×250×350H
内照付法	内照付法
×1	×1

札幌市経済観光局中央卸売市場管理課  
 札幌市中央卸売市場建物設備総合管理業務  
 水産棟・青果棟トイレ排風機点検清掃



1~3階南 男子・女子便所 送風機

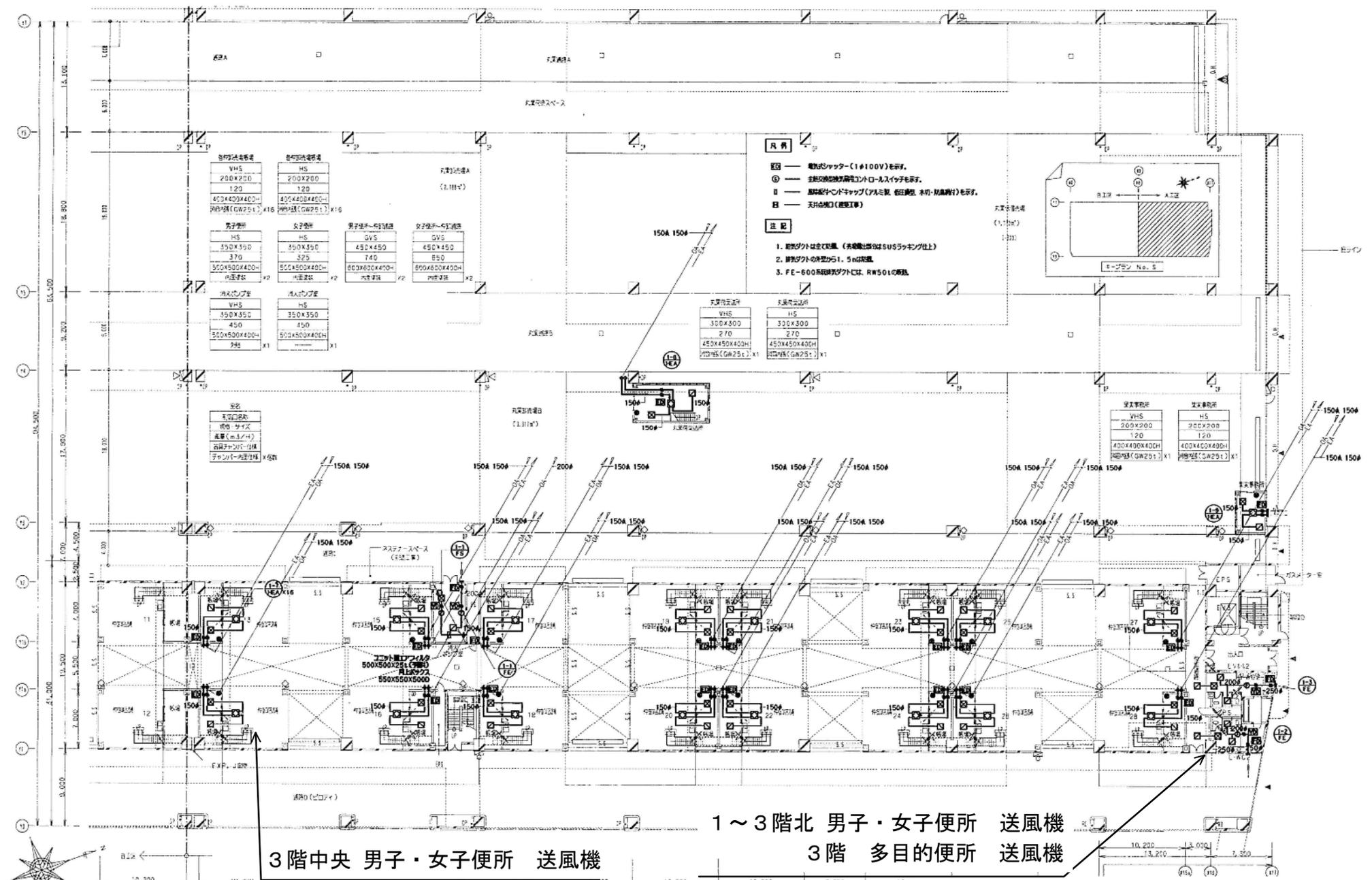
青果棟

札幌市経済観光局中央卸売市場管理課  
 札幌市中央卸売市場建物設備総合管理業務  
 水産棟・青果棟トイレ排風機点検清掃

- 凡 例
- ED 電気式シャッター (1φ100V) を示す。
  - S 全館共通型換気用コントローラスイッチを示す。
  - M 換気用バンドキャップ (7φと8φ、取付位置、取付・取外方向) を示す。
  - 天月台開口 (建築工事)
- 注 記
1. 給気ダクトは全て設置を施す。(吹出風出射口はSUSラッピング仕上)
  2. 給気ダクトの材質は1.5m以下を施す。
  3. FE-600基礎型給気ダクトには、RW50Lの取付を要す。

窓名

開口名称	規格・サイズ	設置(内/外)	設置(内/外)出射	仕様
窓名				



3階中央 男子・女子便所 送風機

1～3階北 男子・女子便所 送風機

3階 多目的便所 送風機



青果棟

札幌市経済観光局中央卸売市場管理課  
 札幌市中央卸売市場建物設備総合管理業務  
 水産棟・青果棟トイレ排風機点検清掃

## その他保守管理業務

	作業項目	備考
1	建物緊急補修 (ガード、床、ドア、天井、壁等)	月4カ所
2	給排水設備等緊急補修 (ポンプ、トイレ、厨房関係等)	月2ヶ所
3	トイレ排水管詰まり及び床清掃処理	月2ヶ所
4	漏水処理	月2ヶ所
5	雨水桝解氷作業	年2回10カ所(各棟合計91カ所)
6	防雪ネットの結束補修	年1回20ヶ所
7	集水桝緊急補修	月1ヶ所
8	雪庇落とし	年2回4ヶ所
9	消火栓前除雪	年2回
10	仲卸トッライト清掃 (床・手摺・網戸)	2ヶ所×年2回
11	鳥害等対策(鳥類巣撤去等)	年70カ所
12	換気等設備緊急補修	月2回
13	その他作業(看板取付・自転車置場設置、各種イベント対応等)	月2回
14	各棟便所内・煙感知器年1回動作試験及び電池交換	年1回
15	各棟水栓カートリッジ交換	年20カ所
16	うがい薬器薬液補充	年4回10ヶ所
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		

平成30～32年度

設 備 保 守 業 務 日 誌  
各 棟 日 常 点 検 表 等  
受 変 電 日 報



# 各棟日常点検表

平成 年 月 日 ( )

確認者	点検者

		水産棟	青果棟	管理センター	立 駐	廃棄物処理	配送センター
空調設備	空調機	運転状態					
		異常警報					
		異臭・異音					
		計器・表示ランプ					
		吹き出し口の確認					
	便所排風機の運転状態						
GHP	運転状態						
	異常警報						
	機器室・MDF室（EHP）運転状態						
ITV設備	放送設備の異常						
	機器室内部及び録画装置の異常						
	監視制御設備の異常						
	監視モニターの確認						
燃料設備	重油	監視表示盤					
		液面計表示					
		液漏れ					
その他	設備室の確認						
	衛生設備の異常						
	排水設備の異常						
	鳥類侵入防止設備の状態						
	エキスパンションの異常						
	消火栓前除雪 ※冬季						
	雪庇状況 ※冬季						
エアーカーテン吸込み口の確認 ※1							
卸冷蔵装置		鯖床冷却装置	札果低温	丸果低温	備 考		
	スケジュールの確認						
	運転状態						
	異常警報						

## 配送センター熱源設備

無圧解放型 ヒータ						各ポンプ		
パネル表示	電 源	点・滅	給湯温度（往）	℃	暖房温度（往）	℃	温水循環P (0.4KW)	
	運 転	点・滅	給湯圧力（往）	MPa	暖房圧力（往）	MPa	電 流	A
	正常水位	点・滅	給湯圧力（還）	MPa	暖房温度（還）	℃	温水系外観	
	異 常	点・滅	缶水温度	℃	暖房圧力（還）	MPa	給湯循環P (100V/0.1kw)	
	不着火	点・滅	缶水水位		膨張タンク		電 流	A
	ガス圧異常	点・滅	漏 水				給湯系外観	

**特記事項**  
 ※1 冬季運転時月1回フィルター清掃する。

凡 例      ✓ 異常なし、 △ 注意、 × 異常あり

# 各棟日常点検表

平成 年 月 日 ( )

確認者	点検者

		水産棟	青果棟	管理センター	立 駐	廃棄物処理	配送センター
空調設備	空調機	運転状態					
		異常警報					
		異臭・異音					
		計器・表示ランプ					
		吹き出し口の確認					
	便所排風機の運転状態						
GHP	運転状態						
	異常警報						
	機器室・MDF室（EHP）運転状態						
ITV設備	放送設備の異常						
	機器室内部及び録画装置の異常						
	監視制御設備の異常						
	監視モニターの確認						
燃料設備	重油	監視表示盤					
		液面計表示					
		液漏れ					
その他	設備室の確認						
	衛生設備の異常						
	排水設備の異常						
	鳥類侵入防止設備の状態						
	エキスパンションの異常						
	消火栓前除雪 ※冬季						
	雪庇状況 ※冬季						
エアーカーテン吸込み口の確認 ※1							
卸冷蔵装置		鯖床冷却装置	札果低温	丸果低温	備 考		
	スケジュールの確認						
	運転状態						
	異常警報						

## 配送センター熱源設備

無圧解放型 ヒータ				各ポンプ				
パネル表示	電 源	点・滅	給湯温度（往）	℃	暖房温度（往）	℃	温水循環P (0.4KW)	
	運 転	点・滅	給湯圧力（往）	MPa	暖房圧力（往）	MPa	電 流	A
	正常水位	点・滅	給湯圧力（還）	MPa	暖房温度（還）	℃	温水系外観	
	異 常	点・滅	缶水温度	℃	暖房圧力（還）	MPa	給湯循環P (100V/0.1kw)	
	不着火	点・滅	缶水水位		膨張タンク		電 流	A
	ガス圧異常	点・滅	漏 水				給湯系外観	

**特記事項**  
 ※1 冬季運転時月1回フィルター清掃する。

凡 例      ✓ 異常なし、 △ 注意、 × 異常あり

# 各棟日常点検表

平成 年 月 日 ( )

確認者	点検者

		水産棟	青果棟	管理センター	立 駐	廃棄物処理	配送センター
空調設備	空調機	運転状態					
		異常警報					
		異臭・異音					
		計器・表示ランプ					
		吹き出し口の確認					
	便所排風機の運転状態						
GHP	運転状態						
	異常警報						
	機器室・MDF室（EHP）運転状態						
ITV設備	放送設備の異常						
	機器室内部及び録画装置の異常						
	監視制御設備の異常						
	監視モニターの確認						
燃料設備	重油	監視表示盤					
		液面計表示					
		液漏れ					
その他	設備室の確認						
	衛生設備の異常						
	排水設備の異常						
	鳥類侵入防止設備の状態						
	エキスパンションの異常						
	消火栓前除雪 ※冬季						
	雪庇状況 ※冬季						
エアーカーテン吸込み口の確認 ※1							
卸冷蔵装置		鯖床冷却装置	札果低温	丸果低温	備 考		
	スケジュールの確認						
	運転状態						
	異常警報						

## 配送センター熱源設備

無圧解放型 ヒータ						各ポンプ		
パネル表示	電 源	点・滅	給湯温度（往）	℃	暖房温度（往）	℃	温水循環P (0.4KW)	
	運 転	点・滅	給湯圧力（往）	MPa	暖房圧力（往）	MPa	電 流	A
	正常水位	点・滅	給湯圧力（還）	MPa	暖房温度（還）	℃	温水系外観	
	異 常	点・滅	缶水温度	℃	暖房圧力（還）	MPa	給湯循環P (100V/0.1kw)	
	不着火	点・滅	缶水水位		膨張タンク		電 流	A
	ガス圧異常	点・滅	漏 水				給湯系外観	

**特記事項**  
 ※1 冬季運転時月1回フィルター清掃する。

凡 例      ✓ 異常なし、 △ 注意、 × 異常あり

# 太陽光発電日常点検表

平成 年 月 日 ( )

電気主任	検印	勤務者

青果サブ変

温度	湿度

高 圧 受 変 電 盤					
52F1 (単相Tr)		52F2 (三相Tr)		52R (受電盤)	
売電電力	温度(°C)	売電電力	温度(°C)	総売電電力	
(kW)		(kW)		(kW)	

名 称	容 量	運転・停止	発電出力	備 考 欄
No1パワーコンディショナー	3相100kW	運・停	(kW)	
No2パワーコンディショナー	3相100kW	運・停	(kW)	
No3パワーコンディショナー	3相100kW	運・停	(kW)	
No4パワーコンディショナー	単相10kW	運・停	(kW)	
No5パワーコンディショナー	単相10kW	運・停	(kW)	
No6パワーコンディショナー	単相10kW	運・停	(kW)	

パワーコンディショナー (総出力)	327kW	(kW)	
-------------------	-------	------	--

太陽光パネル外気温	(°C)	太陽光パネル日射量	(kWh/m <sup>2</sup> )
-----------	------	-----------	-----------------------

前日電力量	売 電		買 電	
	最 大	(kWh)	最 大	(kWh)
	平 均	(kWh)	平 均	(kWh)
	売 電 量	(kWh)	買 電 量	(kWh)
	累 計	(kWh)	累 計	(kWh)

項 目	内 容	チェック	備 考
受変電用設備	本体外部外観、電線及び支持物、工作物 開閉表示・表示ランプの確認		
高・低圧配電盤	計器・表示ランプ・接地等の異常 損傷・変形・発錆		
断路器	噛合部目視 (変色・汚損・遺物)		
遮断器(PAS含む)	異音・異臭・状態表示等		
保護継電器	表示・操作の異常の有無		
配電用変圧器	外観・温度・汚損・端子部変色等		
計器用変成器	異音・異臭・汚損・端子部変色		
開閉器類 (MCCB)	異音・異臭・汚損・端子部変色		
ケーブル・電線	ケーブルヘッド損傷・汚損・変色 接続端子部の変色・発錆		
中央監視装置	制御機器の外観・異常表示の有無 UPS外観・機器異常の有無		
発電設備	太陽光パネルの外観 パワーコンディショナー表示等確認 集電盤の異常の有無		

凡例 異常なし:レ、注意:△、異常あり:×

地下水浄水処理システム 日常点検表

確認者	点検者

平成 年 月 日 ( )

		状 態	備 考			
井 戸 設 備	井戸ポンプ運転状況					
次 亜 注 入 装 置	注入ポンプ運転状況		運 転 機 器	停 止	No.1	No.2
	次亜貯槽残量	L				
P A C 注 入 装 置	注入ポンプ運転状況		運 転 機 器	停 止	No.1	No.2
	PAC貯槽残量	L				
自 動 ろ 過 装 置	運 転 状 況					
UF膜ろ過ユニット	運 転 状 況					
No.1膜ろ過ポンプ	ポンプ運転状況					
No.2膜ろ過ポンプ	ポンプ運転状況					
逆 洗 ポ ン プ	ポンプ運転状況					
No.1 送水ポンプ	ポンプ運転状況					
No.2 送水ポンプ	ポンプ運転状況					
給 水 ポ ン プ	ポンプ運転状況					
制 御 盤	FTPМ 逆洗回数	回	警 報 の 有 無	有	無	
	UF膜ろ過 逆洗回数	回				
残 留 塩 素 計	残留塩素濃度	mg/L	※膜ろ過装置出口の残留塩素濃度			
濁 度 計	処理水濁度	度				
水産棟末端給水栓	残留塩素濃度	mg/L				

備考（連絡事項・特記事項など記載欄）

凡 例	✓ 異常なし、△ 注意、× 異常あり
-----	--------------------

# 熱源設備 運転日報

平成 年 月 日 ( )

確認者 点検者

真空ヒーター		水産棟			青果棟		
		No.1		No.2	No.1		No.2
運転開始時刻					スケジュール	3:00~14:00	
運転停止時刻					運転		
運転時間		h		h	11:00 h	11:00 h	
運転状況		運転・待機・停止		運転・待機・停止	運転・待機・停止	運転・待機・停止	
送排風機運転状態		運転・停止			運転・停止		
温水入口	温度	°C		°C	°C	°C	
	圧力	Mpa		Mpa	Mpa	Mpa	
温水出口	温度	°C		°C	°C	°C	
	圧力	Mpa		Mpa	Mpa	Mpa	
真空度	圧力	Mpa		Mpa			
燃焼状態							
缶水水位							
ガス漏れ確認							
バーナーセッポルトの緩み							
機器からの漏水確認							
感震装置							
排煙濃度	(%) <20%	%			%		
熱交換器機器 熱交二次送水温度		SP	PV	漏水確認	SP	PV	漏水確認
		°C	°C		°C	°C	
ヘッダー		行きヘッダー HHS-1	還りヘッダー HHR-1	還りヘッダー HHR-2	行きヘッダー HHS-1	還りヘッダー HHR-1	還りヘッダー HHR-2
本体	温度	°C		°C	°C	°C	
	圧力	Mpa		Mpa	Mpa	Mpa	
機器からの漏水確認							
膨張タンク		EXT-10	EXT-30-1	EXT-30-2	EXT-1	EXT-2	
本体	圧力	Mpa		Mpa	Mpa	Mpa	
逃がし弁							
漏水確認							
温水ポンプ							
温水循環一次ポンプ PH-10(1)	定格出力	3.7 KW			0.4 KW		
	電流	A	振動		A	振動	
	一次圧力	Mpa		発熱	Mpa	発熱	
	二次圧力	Mpa		漏水	Mpa	漏水	
温水循環一次ポンプ PH-10(2)	定格出力	3.7 KW			0.4 KW		
	電流	A	振動		A	振動	
	一次圧力	Mpa		発熱	Mpa	発熱	
	二次圧力	Mpa		漏水	Mpa	漏水	
温水循環二次ポンプ PH-20	定格出力	2.2 KW					
	電流	A	振動				
	一次圧力	Mpa		発熱			
	二次圧力	Mpa		漏水			
温水循環二次ポンプ PH-21	定格出力	5.5 KW			2.2 KW		
	電流	A	振動		A	振動	
	一次圧力	Mpa		発熱	Mpa	発熱	
	二次圧力	Mpa		漏水	Mpa	漏水	
温水循環三次ポンプ PH-30	定格出力	11.0 KW			5.5 KW		
	電流	A	振動		A	振動	
	一次圧力	Mpa		発熱	Mpa	発熱	
	二次圧力	Mpa		漏水	Mpa	漏水	
水処理装置 WF-1	定格出力	1.5 KW			0.75 KW		
	電流	A	振動		A	振動	
	一次圧力	Mpa		発熱	Mpa	発熱	
	二次圧力	Mpa		漏水	Mpa	漏水	
流量	m3/h			m3/h			

**特記事項**

凡例    ✓異常なし、△注意、×異常あり

# 受 変 電 日 報

平成 年 月 日 ( )

電気主任技術者	確認者	点検者

特別高圧受電室		9 時				18 時			
電気室(前日最高温度)				℃	※		℃		
電気室(温度)				℃	※		℃		
電気室(湿度)				%	※		%		
受電電流(常用・1号)	A	R	S	T	A	R	S	T	
受電電流(予備・2号)	A	R	S	T	A	R	S	T	
受電状況(常用・1号)	加圧・無加圧				加圧・無加圧				
受電状況(予備・2号)	加圧・無加圧				加圧・無加圧				
特高回路 43RD-H	遠方・直接				遠方・直接				
受電切替 43LC	自動・手動				自動・手動				
受電インターロック 43L	使用・不使用				使用・不使用				
受電変圧器		No.1・No.2		No.1・No.2					
変圧器温度	℃			℃	※				
変圧器ガス圧力	Mpa			Mpa	※				
変圧器二次電圧	V			V					
変圧器二次電流	A			A					
変圧器二次有効電力	KW			KW					
変圧器二次無効電力	Kvar			Kvar					
変圧器二次力率	%			%					
変圧器二次周波数	Hz			Hz					
43IL-52S	使用・解除				使用・解除				
EVT	V	零相電圧		V	※				
水産棟 52F1	A	積算値読			※				
予備 52F2	A	※		積算値読	※				
青果棟 52F3	A	積算値読			※				
管理センター 52F4	A	積算値読			※				
廃棄物処理施設 52F5	A	積算値読			※				
コンデンサ 52FC	A			A	※				
43RD - C1~C6	投入	. . .		V	※				
直流電源整流器	V			A	※				
その他異常の有・無				その他異常の有・無					

廃棄物サブ変電室		9 時				18 時			
電気室(前日最高温度)				℃	※		℃		
電気室(温度)				℃	※		℃		
電気室(湿度)				%	※		%		
52M受電(電圧)	V			V					
(電流)	A			A					
(電力)	KW			KW					
(力率)	%			%					
		電流		Tr 温度		電流		Tr 温度	
一般動力 52T1		A	℃	※	A	※	℃		
一般電灯 52T2		A	℃	※	A	※	℃		
その他異常の有・無				その他異常の有・無					

水産サブ変電室		9 時			
電気室(前日最高温度)				℃	
電気室(温度)				℃	
電気室(湿度)				%	
52M受電(電圧)	V				
(電流)	A				
(電力)	KW				
(力率)	%				
(操作)	遠方・直接				
(操作)	自動・手動				
		電流		Tr 温度	
一般電灯 52F1		A	※		
一般動力 52F2		A	※		
保安電源 52F4		A	※		
防災動力 52T1		A	℃		
防災電灯 52T10		A	℃		
CPU 52T4		A	℃		
保安電灯 52T3		A	℃		
保安動力 1 52T2		A	℃		
一般電灯 1 52T5		A	℃		
一般電灯 2 52T6		A	℃		
一般電灯 3 52T7		A	℃		
一般動力 1 52T8		A	℃		
一般動力 2 52T9		A	℃		
保安動力 2 52T11		A	℃		
各分岐操作切替		自動・手動			
直流電源整流器 1	V				
	A				
直流電源整流器 2	V				
	A				
その他異常の有・無					
水産サブ変電室		18 時			
52M受電(電圧)	V				
(電流)	A				
(電力)	KW				
(力率)	%				
(操作)	遠方・直接				
(操作)	自動・手動				
その他異常の有・無					

非常用発電機		9時		18時	
水産棟	操作パネル表示・直流電源・発電装置 異常の有無	有	無	有	無
青果棟	操作パネル表示・直流電源・発電装置 異常の有無	有	無	有	無
管理センター	操作パネル表示・直流電源・発電装置 異常の有無	有	無	有	無
受電電力読値	1 日	10 日		20 日	
力測用有効電力					
力測用無効電力					

青果サブ変電室		9 時			
電気室(前日最高温度)				℃	
電気室(温度)				℃	
電気室(湿度)				%	
52M受電(電圧)	V				
(電流)	A				
(電力)	KW				
(力率)	%				
(操作)	遠方・直接				
(操作)	自動・手動				
		電流		Tr 温度	
一般電灯 52F1		A	※		
一般動力 52F2		A	※		
保安電源 52F4		A	※		
防災動力 52T1		A	℃		
防災電灯 52T2		A	℃		
CPU 52T5		A	℃		
保安電灯 52T4		A	℃		
保安動力 52T3		A	℃		
一般電灯 1 52T6		A	℃		
一般電灯 2 52T7		A	℃		
一般動力 1 52T8		A	℃		
一般動力 2 52T9		A	℃		
各分岐操作切替		自動・手動			
直流電源整流器 1	V				
	A				
直流電源整流器 2	V				
	A				
その他異常の有・無					
青果サブ変電室		18 時			
52M受電(電圧)	V				
(電流)	A				
(電力)	KW				
(力率)	%				
(操作)	遠方・直接				
(操作)	自動・手動				
その他異常の有・無					

管理サブ変電室		9 時			
電気室(前日最高温度)				℃	
電気室(温度)				℃	
電気室(湿度)				%	
52M受電(電圧)	V				
(電流)	A				
(電力)	KW				
(力率)	%				
		電流		Tr 温度	
防災保安動力52T1		A	℃		
防災保安電灯52T2		A	℃		
一般動力 52T3		A	℃		
一般電灯 52T4		A	℃		
直流電源整流器	V				
	A				
その他異常の有・無					
管理サブ変電室		18 時			
52M受電(電圧)	V				
(電流)	A				
(電力)	KW				
(力率)	%				
その他異常の有・無					

立駐サブ変電室		9 時			
電気室(前日最高温度)				℃	
電気室(温度)				℃	
電気室(湿度)				%	
52M受電(電圧)	V				
(電流)	A				
(電力)	KW				
(力率)	%				
積算値読		電流		Tr 温度	
一般動力 52T1		A	℃		
一般電灯 52T2		A	℃		
防災動力 52T5		A	℃		
保安動力 52T3		A	℃		
保安電灯 52T4		A	℃		
直流電源整流器	V				
	A				
その他異常の有・無					
立駐サブ変電室		18 時			
52M受電(電圧)	V				
(電流)	A				
(電力)	KW				
(力率)	%				
その他異常の有・無					

# 受変電日報 2/2

凡例 異常なし:レ、注意:△、異常あり:×

平成 年 月 日 ( )

項目	内容	特高電気室	水産棟	青果棟	管理センター	立駐	廃棄物	配送センター	JR高架下
受変電用設備 (C-GIS) (66kv変圧器)	異音・異臭 本体外部外観 ガス圧の確認 開閉表示・表示ランプの確認								
電力用コンデンサー (リアクトル含む)	目視(ケースの膨らみ・発錆) ブッシング汚損・損傷 異音・異臭								
高・低圧配電盤	損傷・変形・発錆 計器・表示ランプ 接地等の異常(ELR)								
断路器(LBS・PCS含む)	噛合部目視 (変色・汚損・異物付着)								
遮断器(PAS含む)	異音・異臭 状態表示・表示ランプ								
保護継電器	表示・操作の異常の有無								
配電用変圧器	外観・温度・汚損 端子部変色								
計器用変成器	異音・異臭・汚損 端子部変色・発錆								
開閉器類 (MCCB)	異音・異臭・汚損 端子部変色								
ケーブル・電線	ケーブルヘッド損傷・汚損・変色 接続端子部の変色・発錆 ハンガー外れ								
直流電源装置 蓄電池	指示計器・操作部の異常の有無 端子接続部の変色・汚損・発錆 各開閉器類・整流器・変圧器等の 異音・異臭・汚損								
非常用自家発電設備 直流電源設備 蓄電池	指示計器・操作部の異常の有無 端子接続部の変色・汚損・発錆 各開閉器類・整流器・変圧器等の 異音・異臭・汚損								
中央監視装置	制御機器の外観 異常表示の有無 UPS外観・機器異常の有無								
給電システム	各給電装置の異常表示の有無 外観・外灯点検								
照明設備	不点及び器具破損 スケジュールの変更								
備考									

## 消耗品在庫管理表

































札幌市工具台帳  
放送設備機器台帳

平成29年度 札幌市工具台帳（機械他）①

札幌市中央卸売市場

No.	購入月	品名・規格	水産棟	青果棟	配送S	立 駐	管理S	廃棄物	備 考
機-1	20.08	エンジン溶接発電機 GAW-150ES2D				1			
機-2	-	ネジ切 S50AⅢ REX				1			
機-3	-	発電機 HONDA EX4000				1			
機-4	-	溶接機一式 YK-250AD2				1			
機-5	-	バンドソーピーパー6F BB103				1			
機-6	20.06	小型溶接機 N-YW-3-E				1			ガス切断機
機-6	20.06	中型溶接機 N-YC-1-W				1			ガス切断機
機-6	20.06	ポンプ運搬車 MSA-3.4型				1			ガス切断機
機-6	20.06	酸素調整器 N-SSBUR-OX-E				1			ガス切断機
機-6	20.06	アセチレン調整器 N-SSBUR-AC				1			ガス切断機
機-7	19.08	電動攪乱機 PMA-240		1					
機-8	17.05	送排風機（一式）	1						
機-9	17.06	高圧洗浄機 21/90G-GP	1						
機-10	13.02	ヒートポイ （電気解氷機一式）			1				
機-11	13.03	発電機 EB23JN	1						
機-12	-	水中ポンプ HS2.4S-52	1						
機-13	-	水中ポンプ P402	1						
機-14	16.03	水中ポンプ S-500L	1						
機-15	18.01	スノーシュー	4						
機-15	18.01	スノーシュー	4						
機-16	16.05	電気丸鋸 W-17A	1						
機-17	19.08	ディスクグラインダー G10SH3	1						
機-18	19.08	振動ドリル DV16V	1						
機-19	19.08	日立全ネジカッター CL14DSL	1						
機-20	-	充電ハンマードリル EZ7880LZ2S-B	1						

平成29年度 札幌市工具台帳（機械他）②

札幌市中央卸売市場

No.	購入月	品名・規格	水産棟	青果棟	配送S	立 駐	管理S	廃棄物	備 考
機-21	23.07	松下 充電ドライバー EZ9200	1						
機-22	-	ツルミ ハイスピン ポンプ 40PN2-25S	1						
機-23	23.09	ヒルティ TE7-C	1						
機-24	23.09	LEDライト&レーザーポインター ELA-G600N	1						
機-25	23.09	放射温度計 5515	1						
機-26	23.01	ツルミ 排水用水中用ポンプ LSR-2.4S型	1						
機-27	23.03	記録用ビデオ HX-WA10-A パナソニック	1						
機-28	25.06	粉塵機 RP35SA 日立	1						
機-29	25.06	ベビーサンダー S10SA3 日立	1						
機-30	25.06	チェンソー CS28 日立	1						
機-31	25.06	電工用ドライバー TD021DS マキタ	1						
機-32	25.06	コンプレッサー FS-07MS	1						
機-33	25.07	スイデン 送風機 SJF-300RS-1	1						
機-34	26.09	ケルヒャー 高圧洗浄機 HD4/8C50HZG	1						
機-35	26.03	インパクトドライバー WH14DDL 日立	1						
機-36	26.05	トラスコ カタログケース B1C15	1						
機-37	26.06	台車 316SEBN	2	1		1			
機-38	26.08	充電ハンマードリル EZ78A ILS2G-H パナソニック	1						
機-39	27.03	ケルヒャー スチームクリーナー DE4002	1						
機-40	27.12	STS 工業用内視鏡 SDI-55	1						
機-41	27.10	山金 ファイルラック 02810	1						
機-42	28.02	トラスコ ドンキーカート 108NS	1						
機-43	28.02	トラスコ ドンキーカート 302NS		1					
機-44	28.05	アイリスオーヤマ スチール フロアケース SFE-6006	1						
機-45	28.07	BOSCH 充電式マルチカッター	1						



平成29年度 札幌市工具台帳（計測機器他）①

札幌市中央卸売市場

No.	購入月	品名・規格	水産棟	青果棟	配送S	立 駐	管理S	廃棄物	備 考
計-1	12.10	接地抵抗計 4102 KYOURITSU				1			
計-2	12.10	絶縁抵抗計 PDM-258 (250V) SANWA	1						
計-3	12.10	絶縁抵抗計 DM-1007 (1000V) SANWA				1			
計-4	-	高圧検電器	3	2		1			
計-5	12.10	クランプメータ DCM-2L SANWA				1			
計-6	18.03	テスタ 3008 HIOKI	2	2					
計-7	-	接地短絡線	1	1					
計-8	13.03	IGメータ AIG-50M (避雷器・漏れ電流計)	1						
計-9	8.06	電圧・電流記録計 (キューレコーダー) MODEL 5100A	1						
計-10	8.06	電圧・電流記録計出力コード	1						
計-11	15.10	マルチ計測器 デジタルレコーダー MDR-200	1						
計-12	18.03	サウンドスコープ M-4	1						
計-13	20.06	温度ハイツタ 本体 HIOKI 3412-50	1						
計-14	12.09	検相器 3126 HIOKI	1						
計-15	15.10	デジタル (マルチ) クランプリーカー MCL 800D	1						
計-16	15.10	安全プラグ付接続コード 2M	1						
計-17	-	クランプメータ 2413F KYOURITSU	1						
計-18	4.06	絶縁抵抗計 BN-TB型 (250V) ナショナル	1						
計-19	-	絶縁抵抗計 YOKOGAWA TYPE 3213 (1000V)	1						
計-20	-	テスタ 3021 HIOKI	1						
計-21	12.09	電力チェッカー BT35002 ナショナル	1						
計-22	11.05	配線チェッカー BT41001・BT41002	1						
計-23	12.01	クランプメータ 8008 KYOURITSU	1						
計-24	21.06	デジタルマルチメータ 1018 KYORITSU	3						
計-25	21.06	絶縁抵抗計 3315 KYORITSU 付属品 9098	1						



## 放送設備機器台帳

購入日	品名	品番	数量
09.12.01	アンプ 60W	CGA-604	2台
09.12.01	アンテナ	AA-382	2本
09.12.01	スピーカー10W	CKT-230	4台
09.12.01	スピーカーコネクター	XLR-4-12C	4本
09.12.01	スピーカースタンド	ST-22	4本
09.12.01	スピーカーコード 20m	LS-120	2本
09.12.01	ワイヤードマイク	MD-66T	2本
09.12.01	ワイヤレスマイク	MD-56T	2本
09.12.01	マイクホルダー		4個
09.12.01	床上マイクスタンド	MT-96	2本
09.12.01	床上マイクホルダー	MDH-1	2個
16.12.07	ワイヤードマイク	DM-1300US	1本
16.12.08	マイクコード 10m		2本
16.12.08	アンプ 65W+65W	KZ-65A	1台
16.12.08	スピーカー65W	KZ-650	2台
16.12.08	スピーカースタンド	KZ-534	2本
16.12.08	ヘッド式マイクセット	WH-1000	1組
16.12.08	ピンマイクセット	WM-1320	1組
16.12.08	ワイヤレスマイク	WM-1220	2本

# 平成30年(2018年)週休カレンダー

(別添)

## 1 JANUARY

日	月	火	水	木	金	土
	1 <small>元日</small>	2	3	4	5	6
7	8 <small>成人の日</small>	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## 2 FEBRUARY

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 <small>建国記念の日</small>	12 <small>天皇誕生日</small>	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

## 3 MARCH

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 <small>春分の日</small>	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

## 4 APRIL

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29 <small>昭和の日</small>	30 <small>こどもの日</small>					

## 5 MAY

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 <small>憲法記念日</small>	4 <small>みどりの日</small>	5 <small>こどもの日</small>
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

## 6 JUNE

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

## 7 JULY

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 <small>海の日</small>	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 8 AUGUST

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 <small>山の日</small>
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

## 9 SEPTEMBER

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17 <small>敬老の日</small>	18	19	20	21	22
23 <small>秋分の日</small>	24 <small>霜降の日</small>	25	26	27	28	29
30						

## 10 OCTOBER

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8 <small>体育の日</small>	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## 11 NOVEMBER

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 <small>文化の日</small>
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 <small>勤労感謝の日</small>	24
25	26	27	28	29	30	

## 12 DECEMBER

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 <small>天皇誕生日</small>	24 <small>クリスマス</small>	25	26	27	28	29
30	31					

○ 臨時休市日 □ 臨時開市日

開市日数262日

## 労働社会保険諸法令遵守状況の確認について

1 受託者は、次に掲げる書面を、指定する期日までに提出すること。

(1) 労働社会保険諸法令遵守状況確認用書面

ア 業務従事者名簿及び業務従事者配置計画書

業務対象施設に日常的に従事（常駐）する労働者（以下「労働者」という。）の把握とともに、労働者の配置計画及び社会保険加入義務を確認するため、「業務従事者名簿」及び「業務従事者配置計画書」を、業務の履行開始日の前日までに提出すること。また、労働者が変更となる場合には、その都度、業務従事者名簿を、変更後の労働者が従事する日の前日までに提出すること。

イ 業務従事者健康診断受診等状況報告書

労働者（上記アの「業務従事者名簿」により報告のあった労働者）の健康診断受診等状況を確認するため、「業務従事者健康診断受診等状況報告書」を、履行期間内において、1年毎に1回提出すること。

ウ 業務従事者支給賃金状況報告書

労働者の支給賃金状況を確認するため、年1回、委託者が指定する期日までに、業務従事者支給賃金状況報告書を提出すること。

(2) 業務費内訳書、業務従事者賃金支給計画書及び社会保険料事業主負担分調書

契約金額に対する積算根拠(積算内訳)として、契約締結後直ちに、業務費内訳書、業務従事者賃金支給計画書及び社会保険事業主負担分調書を、別冊の記載要領に沿って作成し提出すること。

2 上記1の書面での確認において疑義が生じた場合にあっては、受託者は、上記1の書面のほか、契約約款第16条第2項の規定に基づき、受託者が保管する雇用契約書、賃金台帳、出勤簿その他の労務管理に係る書類を、委託者が指定する期日及び場所において、委託者が確認できる状態にすること。

# 業 務 費 内 訳 書 等 記 載 要 領

【 総 額 ( 単 年 度 ) 契 約 用 】

様式 1-1 業 務 費 内 訳 書

様式 1-2 業 務 従 事 者 賃 金 支 給 計 画 書

様式 1-3 社 会 保 険 料 事 業 主 負 担 分 調 書

様式 1-4 業 務 従 事 者 配 置 計 画 書

札幌市財政局管財部契約管理課

※本業務は3年間の複数年契約であるため、この要領に記載されている「入札書記載金額」等は「入札書記載金額の3分の1」等と読み替えてください。

## 業務費内訳書（様式 1-1）記載要領

業務費内訳書（様式 1-1）は、入札書記載金額（契約希望金額 × 100/108 の金額）に対する積算の内訳書となります。

記入にあたっては、合計(14)の金額が入札書記載金額（契約希望金額 × 100/108 の金額）と一致するよう、次の事項に留意のうえ作成してください。

項 目 名	説 明
直接人件費 その 1 ①	<p>1 『直接人件費計(③=①+②)』は、清掃や警備等の建築保全業務に直接従事する技術者が、当該業務を行うため、その労働力を消費することによって発生する費用で、当該技術者の賃金に相当します。</p> <p>そのうちの『直接人件費その1(①)』は、入札書記載金額〔契約希望金額 × 100/108 の額〕の算出に当たり、想定した直接人件費のうち、<u>日常的に業務に従事する労働者(労働基準法第9条に定める労働者)の給与(基本給、所定内手当)及び賞与の額の合計額を、記入してください。</u></p> <p>なお、時間外手当や夜勤手当といった所定外手当や、定期清掃等で臨時的に投入される業務従事者、代替職員費用、役員等の報酬等は、当該項目の費用から除いてください。</p> <p>2 『①の金額 ≧ 業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)の合計額(A)』となるよう作成してください。</p>
直接人件費 その 2 ②	「業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)」に掲げた業務従事者に関する時間外手当や夜勤手当の所定外手当のほか、定期清掃など臨時的に従事する業務従事者の給与等の合計額を記入してください。
直接物品費 ④	<p>清掃や警備等の建築保全業務に直接従事する技術者が、当該業務を行うのに必要な物品を消費することによって発生する費用を、記入してください。</p> <p>(例) ア ウェス、潤滑油、グリース、洗油、ロープ、養生用シート、事務用品等の費用 イ 脚立、テストハンマー、工具、計測機器(設備機器に付属して設置されているものを除く。)、真空掃除機、床磨き機等の損料</p>
その他 直接業務費 ⑤	清掃や警備等の建築保全業務において、業務の履行に必要な直接的な費用で、直接人件費計(③=①+②)及び直接物品費(④)に掲げた費用以外の費用を、記入してください。
業務従事者 に係る 健康診断経費 ⑦	「業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)」に掲げた業務従事者の労働安全衛生法等に基づく定期健康診断に係る費用を記入してください。
教 育 ・ 訓 練 費 ⑧	<p>「業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)」に掲げた業務従事者の教育・訓練費に係る費用を記入してください。</p> <p>(例) ア 建築物清掃業務の登録要件である業務従事者に係る研修費用 イ 警備業法施行規則第 38 条第 1 項に基づく警備員の教育費用</p>
そ の 他 業 務 管 理 費 ⑨	<p>業務を実施するうえで、受注者が現場業務を管理運営するために必要な直接業務費以外の費用で、別枠で計上の健康診断費用⑦及び教育・訓練費⑧を除いた費用を記入してください。</p> <p>例 ア 業務従事者の出張旅費、発注者等への連絡交通費、電話、郵便等の通信費(通信交通費) イ 危険防止等の安全管理に関する費用(安全管理費) ウ 資料作成、諸手続、資格等の届出その他技術管理上必要な費用(技術管理費) エ 業務従事者に係る被服費</p>

<p>業務従事者に係る法定福利費⑪</p>	<p>1 「業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)」に掲げる業務従事者に係る健康保険料、介護保険料、厚生年金保険料、労災保険料、雇用保険料その他の社会保険料に係る事業主負担分の金額を記入してください。</p> <p>2 『業務従事者に係る法定福利費⑪の金額 ≧ 社会保険料事業主負担分調書(様式 1-3)の合計額(D)』となるよう作成してください。</p> <p>3 「直接人件費その1①」に金額を計上しているにも関わらず、当該費用を計上していない場合は、記載内容が不備とみなします。</p>
<p>その他一般管理費等⑫</p>	<p>一般管理費等は、受注者が企業を維持運営していくために必要な直接業務費及び業務管理費以外の費用で、別枠で計上した業務従事者に係る法定福利費⑪を除いた費用を記入してください。</p> <p>(例) ア 損害保険料          イ 直接人件費③に係る業務従事者を除く従業員に対する給料、諸手当及び賞与、並びに当該従業員に対する法定福利費及び福利厚生費          ウ 通信運搬費、光熱水費          エ 事務用消耗品、事務用備品費及び参考図書等の購入費、並びに減価償却資産の償却額          オ その他直接人件費及び業務管理費のいずれにも該当しない費用及び営業利益</p>

【記載例】

(内 訳)

項 目	金 額	内 容
直接人件費その1 ①	4,850,000 円	● 日常的に従事する業務従事者の給与(基本給、所定内手当)及び賞与の額 ● ①の金額 ≧ 「様式1-2(業務従事者賃金支給計画書)の合計額(Aの金額)」となるよう作成
直接人件費その2 ②	500,000 円	● ①に掲げた業務従事者の所定外賃金(時間外手当、夜勤手当等) ● 臨時的に投入する業務従事者(①に掲げる者以外)に係る給与
直接人件費計 ③=①+②	5,350,000 円	
直接物品費④	69,000 円	業務従事者が本業務を行うのに必要な物品を使用することによって発生する費用
その他直接業務費⑤	499,240 円	直接人件費又は直接物品費に属さない直接業務費
計⑥=③+④+⑤	5,918,240 円	
業務従事者に係る健康診断経費⑦	32,000 円	防衛安全衛生法等に基づく業務従事者の定期健康診断に係る費用
教育・訓練費⑧	20,000 円	各項目とも、値引き「△〇〇〇,〇〇〇円」といった金額を減する記載は不可。(千円未満の端数調整は除く。)
その他業務管理費⑨	68,000 円	受注者が現場業務を管理運営するために必要な直接業務費以外の費用で、⑦及び⑧以外の経費
計⑩=⑦+⑧+⑨	120,000 円	①の項目に金額を計上しているにも関わらず、当該項目に金額(労災保険料相当額以上)の記載がないものは不可。
業務従事者に係る法定福利費⑪	450,000 円	● 業務従事者に係る社会保険の事業主負担金経費 ● 「直接人件費その1(①)」の金額の記載があるにも関わらず、当該項目に金額の計上が無いものは不可。
その他一般管理費等⑫	525,760 円	
計⑬=⑪+⑫	975,760 円	入札書記載金額(契約金額 × 100/108)の額と一致しないものは不可。
合 計⑭=⑥+⑩+⑬	7,014,000 円	入札書記載金額(契約金額 × 100/108)と一致

## 業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)記載要領

業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)は、日常的に従事する業務従事者(労働基準法第9条に規定する労働者)について、入札額の算定の際に想定した配置予定の業務従事者毎に、その支給予定の所定内賃金や賞与等の支給計画となります。

記入にあたっては、『【業務費内訳書(様式 1-1)の「直接人件費その1①」の金額】 ≥ 【業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)の合計額 A 欄(労災保険対象額)】』となるよう、次の事項に沿って作成してください。なお、時間外手当や夜勤手当のほか、定期清掃などで臨時に従事する業務従事者や、代替要員に関する給与等については、本様式から除いてください。

項目名	説明
従事者 No.	「従事者No.」は「1」から始まる連続番号を付記してください。(この様式の従事者No.を基準とし、社会保険料事業主負担分調書(様式 1-3)には、従事者No.を転記して連動するように該当欄に記載してください。)
年齢区分	入札金額の算定時において、配置を想定した業務従事者の年齢区分について、該当する区分に「○」を付してください。 なお、本項目は、 <u>社会保険の加入義務について、年齢的な要件を満たしているかを確認することを目的としています。</u> このため、年齢を想定されていない場合は、「○」を付することを省略しても構いませんが、社会保険の加入状況欄は、必ず記入してください。
従事者区分	従事者区分は、業務毎に業務従事者の技能や実務経験等によりA、B又はCの3区分としております。入札金額の算定時において、配置を想定した業務従事者の区分について、該当する区分に「○」を付してください。なお、次の1～3に掲げる業務以外のものにあつては、従事者区分欄への付記を省略してかまいません。 <b>1 建物の清掃の場合</b> A: 作業内容が判断できる技術力及び作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験6年以上程度の者 B: 作業内容が判断できる技術力及び必要な技能を有し、実務経験3年以上6年未満程度の者 C: 清掃業務について、A又はBの指示に従って作業を行う能力を有し、実務経験3年未満程度の者 <b>2 建物の警備の場合</b> A: 施設警備1級の検定資格を有する者、若しくは警備業務について、高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験6年以上程度の者 B: 施設警備2級の検定資格を有する者、若しくは警備業務について、作業の内容判断ができる技術力及び必要な技能を有し、実務経験3年以上6年未満程度の者 C: 警備業務について、A又はBの指示に従って作業を行う能力を有し、実務経験3年未満程度の者 <b>3 建物のボイラー等設備運転・監視等業務の場合</b> A: 運転・監視及び日常的な点検保守業務について、高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験10年以上程度の者 B: 運転・監視及び日常的な点検保守業務について、作業の内容判断ができる技能及び必要な技能を有し、実務経験5年以上10年未満程度の者 C: 運転・監視及び日常的な点検保守業務について、A又はBの指示に従って作業を行う能力を有し、実務経験5年未満程度の者

所定労働時間	<p>配置を想定した業務従事者における、「1日あたり」、「1週間あたり」及び「1月あたり」の所定労働時間を、次のように記載してください。</p> <p><b>1 「日」: 1日の平均所定労働時間</b>  複数のシフトにより1日の所定内労働時間が異なる場合は「〇～〇」と記載ください。</p> <p><b>2 「週」: 1週間の平均所定労働時間</b></p> <p>① 1日の所定労働時間及び週の労働日数が固定されている場合 例) 月～木曜日まで週4日、8:00～12:00の実働4時間の場合 ⇒ 4日×4時間＝16時間/週</p> <p>② 複数のシフトにより1日の労働時間が異なる又は週の労働日数が固定されていない場合</p> <p>ア 年間所定労働時間 ÷ 52週間/年 ＝ 週所定労働時間</p> <p>イ 月所定労働時間 ÷ 4.3週/月 ＝ 週所定労働時間</p> <p>ウ おおよその週労働日数又は月の労働日数等で計算する場合</p> <p>(例) おおよそ週3日勤務 × 5時間 ＝ 15時間/週</p> <p>(例) おおよそ月13日の勤務 × 4時間 ÷ 4.3 ≒ 12時間/週</p> <p>(例) おおよそ週5日勤務の内、(おおよそ週3回×4時間勤務＝12時間) + (週2回×6時間勤務＝12時間) ＝ 24時間/週</p> <p><b>3 「月」: 1月の平均所定労働時間</b>  以下のいずれかの方法により、業務従事者の月の所定労働時間を記載ください。</p> <p>① 年間所定労働日数(⇔年間休日数)及び1日の所定労働時間から計算できる場合: 年間所定労働日数 × 日所定労働時間 ÷ 12か月</p> <p>② 上記以外で、年間所定労働時間を出せる場合: 年間所定労働時間 ÷ 12か月</p> <p>③ それ以外で計算する場合 (週所定労働時間) × 4.3週 ＝ 月所定労働時間</p>
1月の所定労働日数	<p>所定労働時間における記載内容を基に、配置を想定した業務従事者の月所定労働日数を記入してください。</p>
基本給形態	<p>配置を想定する業務従事者における基本給について、月給、時給又は日給のいずれかに「〇」を付し、その額を、下段の( )内に記入してください。</p>
月支給額内訳	<p><b>1 給与A(①): 最低賃金の計算に含める給与を記入してください。</b></p> <p>①基本給(上段): 基本給形態欄に記入した基本給をもとに、1月あたりの支給額を記入してください。なお、基本給が時間給又は日額の場合には、所定労働時間欄に記入した「1月あたりの所定労働時間」や「月所定労働日数」を勘案のうえ1月あたりの支給額を記入してください。</p> <p>ア時間給の場合: 月支給額 = 〇〇〇円/H × 174H(1月あたりの所定労働時間例)</p> <p>イ日額の場合: 月支給額 = 〇, 〇〇〇円/日 × 21日(月所定労働日数例)</p> <p>②その他(下段): 上記①の職務手当などの基本給以外の最低賃金の計算に含めるべき手当の1月当たりの支給額を記入してください。</p> <p><b>2 給与B(②): 最低賃金の計算に含めない通勤手当、精皆勤手当及び家族手当を記入してください。</b></p> <p>①通勤手当(上段): 1月あたりの想定する通勤手当を記入してください。</p> <p>②精皆勤手当・家族手当(下段): 想定する精皆勤手当と家族手当の1月当たりの合計額を記入してください。</p>
月支給合計 ③	<p>業務従事者毎の1月当たりの平均支給額となります。次の計算に基づく金額を記入してください。</p> <p>月支給額合計 = 給与A①【基本給(上段)+その他(下段)】 + 給与B②【通勤手当(上段)+精皆勤手当・家族手当(下段)】</p>

年間給与 ④	業務従事者毎の年間の給与額となります。次の計算に基づく金額を記入してください。 年間給与 = 月支給合計③ × 12月
賞与等 ⑤	業務従事者毎に想定する年間の賞与等(臨時の給与を含む)の金額を記入してください。
年間給与 総支給額	業務従事者毎の年間給与と総支給額となります。次の計算に基づく金額を記入してください。 年間給与と総支給額 = 年間給与④ + 賞与等⑤
社会保険 の加入	配置を想定した業務従事者毎に、雇用保険及び健康保険・厚生年金保険の加入義務について記入してください。保険種別毎に、加入義務がある(経費を見込んだ)場合には当該項目欄に「○」を、加入義務がない(経費を見込んでない)場合には「×」を付してください。
労働条件 に係る事項	社会保険の加入義務の指標となる「同じ業務に従事している通常の正規労働者」の所定労働時間を把握するものです。貴社の就業規則や雇用契約書を基準として、「1日」、「1週間」及び「1月」の所定労働時間を記入してください。 ※労働基準法上、所定労働時間は原則1日8時間、週40時間が上限です。なお、変形労働時間制を適用した場合は、原則週平均40時間が上限です。(特例対象事業所は週(平均)44時間と読み替えてください。)

【記載例】

従事者No.	年齢区分	従事者区分	所定労働時間			1月の所定労働日数	基本給形態(金額)	月支給額内訳(時給・日給は月額合計)			月支給合計③(①+②)	年 間			社会保険の加入	
			日	週	月			給与A ①	給与B ②	年間給与④(③×12月)		賞与等⑤(年間支給額)	年間給与と総支給額(④+⑤)	雇用保険	健康厚生年金	
1	40歳未満 40歳以上 65歳以上	A・B・C	8	40	173.3	21.6	月給・時給・日給 (173,300)円	173,300	10,080	208,380	2,500,560	150,000	2,650,560	○	○	
2	40歳未満 40歳以上 65歳以上	A・B	5	20	86.7	17.3	月給・時給・日給 (1,000)円	86,700	8,500	95,200	1,142,400	50,000	1,192,400	○	×	
3	40歳未満 40歳以上 65歳以上	A・B・C	4	12	52	13	月給・時給・日給 (3,600)円	46,800	6,500	53,300	639,600	0	639,600	×	×	

**従事者 No.1 (月給)**  
 想定40歳未満・経験6年以上・9:00~18:00(休憩60分) = 8時間勤務/日 × 週5勤務(土・日曜日) = 40時間/週  
 365日/年 - (休日105日(土・日曜日)/年) × 8時間 ÷ 12ヵ月 = 173.3時間/月、365日/年 - (休日105日/年) ÷ 12ヵ月 = 21.6日/月  
 基本給(月給)173,300円 + 役職手当20,000円 + 通勤手当10,080円(定期代1ヵ月) + 家族手当5,000円 = 208,380円

**従事者 No.2 (時間給)**  
 40歳以上65歳未満・経験5年未満・9:00~14:00 = 5時間勤務 × 週4勤務(金・土・日曜日) = 20時間/週  
 (365日/年 - 休日157日/年) × 5時間 ÷ 12ヵ月 = 86.7時間/月、(365日/年 - 休日157日/年) ÷ 12ヵ月 = 17.3日/月  
 基本給 86,700円(時給1,000円 × 月所定労働時間 86.7時間) + 8,500円(通勤手当500円/日 × 月所定労働日数17日) = 95,200円

**従事者 No.3 (日給)**  
 年間所定労働時間や月所定労働時間の算出ができない場合  
 想定65歳以上・経験1年・9:00~22:00の間で実労働4時間  
 ①おおよそ週3日勤務程度(週4休程度・休日不定) × 4時間勤務 = 12時間/週、週3日 × 4.3週/月 ÷ 13日/月 × 4時間 = 52時間/月  
 ②おおよそ月13日程度勤務 × 4時間勤務 = 13日 × 4時間/日 = 52時間/月、52時間/月 ÷ 4.3週/月 ÷ 12ヵ月 = 12時間/週  
 基本給 46,800円(日給3,600円 × 所定労働日数13日) + 6,500円(通勤手当500円/日 × 月所定労働日数13日) = 53,300円

雇用保険加入者の総支給額合計  
No.1 + No.2

業務費内訳書(様式1-1)「直接人件費その1①」の金額 ≥ A欄の金額 (労災保険対象額)となるよう作成	A	B
合計	4,482,560	3,842,960
対象額	内雇用保険対象額	

■労働条件に係る事項 ※この様式を複数枚作成  
 ※就業規則・雇用契約書を基準とし記載願います。

ア 通常の正規労働者の1日の所定労働時間は( 8 )時間/日  
 イ 通常の正規労働者の1週間の所定労働時間は( 40 )時間/週  
 ウ 通常の正規労働者の1月の所定労働日数は( 21.6 )日/月

【加入要件概要】  
 雇用保険: 年齢に関わらず所定労働時間が週20時間以上である者  
 健康保険・厚生年金: 所定労働時間・所定労働日数がおおよそ正規労働者の4分の3  
 かつ ①健康保険は75歳未満の者②厚生年金は70歳未満の者  
 介護保険: 健康保険加入者 かつ 40歳以上65歳未満の者

社会保険料事業主負担分調書(様式 1-3) 記載要領

「社会保険料事業主負担分調書(様式 1-3)」は、「業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)」に記載した業務従事者に係る社会保険料の事業主負担分の算出調書となります。

記入にあたっては、『【業務費内訳書(様式 1-1)の「業務従事者に係る法定福利費①」の金額】 ≥ 【社会保険料事業主負担分調書(様式 1-3)の合計額D欄(労災保険対象額)】』となるよう、次の事項に沿って作成してください。

項目名	説明
従事者 No.	「業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)」に記入した業務従事者毎に付番した「従事者No.」と連動するように、「従事者No.」を記載してください。
標準報酬月額	「業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)」に記入した業務従事者毎に、全国健康保険協会(協会けんぽ)などの保険者が示す健康保険・厚生年金保険の保険料額表をもとに、業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)の月支給合計額③を参考に、標準報酬月額を記入してください。
事業主負担分保険料率	1 全国健康保険協会(協会けんぽ)などの保険者が示す健康保険・厚生年金保険の保険料額表をもとに、保険種別毎に事業主負担分に係る保険料率を記入してください。 2 契約期間中に保険料率の変動を見込んでいる場合は、入札日又は履行開始日の時点で適用となる保険料率を記入してください。

【記載例】

社会保険料事業主負担分調書

様式 1-3

会社名: (株)●●●●●

平成 年 月 日 時点(予定)

加入健康保険名: 全国健康保険協会北海道支 ※直近の保険料率表又は保険料額表を添付してください。

従事者No.	標準 事業主負担分 保険料率④	健康保険 (5.110%)	介護保険 (0.825%)	厚生年金 (9.150%)	児童手当金 (0.230%)	合計	年合計	備考	
1	給与 200,000 賞与等 150,000	10,220	1,650	18,300	460	30,630 ×12ヶ月 22,973 ×1	367,560 22,973		
	給与 賞与等					×12ヶ月 ×1			
様式 1-2(社会保険の加入欄)で健康保険・厚生年金加入とした従事者No.を転記して、記載内容を連動させてください。									
	給与 賞与等	給与: 様式 1-2(月支給合計③)の金額を基に、標準報酬月額を記載してください。 賞与: 様式 1-2(賞与等⑤)の金額を基に、千円以下切捨ての上、記載してください。							
	給与 賞与等	保険者が示している「保険料額表」を参照のうえ、入札の際に見積もった事業主負担分の保険料率を、保険毎に記入してください。							
	給与 賞与等	左記に記載した給与及び賞与の標準月額に保険毎の保険料率を乗じて(保険料額表)社会保険料の事業主負担分の金額をそれぞれ記載してください。							
	給与 賞与等	対象賃金額: 様式 1-2 合計額A欄(労災保険対象額)							
	給与 賞与等					計 C	390,533 ①		
労災保険料	対象賃金額 (4,482,560) × (様式 1-2のAの額) × 事業主負担金率 ( 5.52 ) /1000 =							24,744 ②	
雇用保険料	対象賃金額 (3,842,960) × (様式 1-2のBの額) × 事業主負担金率 ( 6.00 ) /1000 =							23,058 ③	
		合計 D						438,335 ①+②+③	

※作成

1 対象賃金額: 様式 1-2 合計額B欄(内雇用保険対象額)

2 労災保険料の事業主負担分(金額)の記載は不可

D の金額 ≤ (様式 1-1) 業務従事者に係る法定福利費①の金額

〈注意〉

上記記載例で示した保険料率は、平成 29 年 10 月時点の北海道の保険料率で計算しています。

また、労災保険料は、代表的なビルメンテナンス業のもの(5.5)に石綿対策の一般拠出金(0.02)を加えています。

提出(算出)にあたっては、入札参加時点の「保険料額表」を参考にして作成してください。

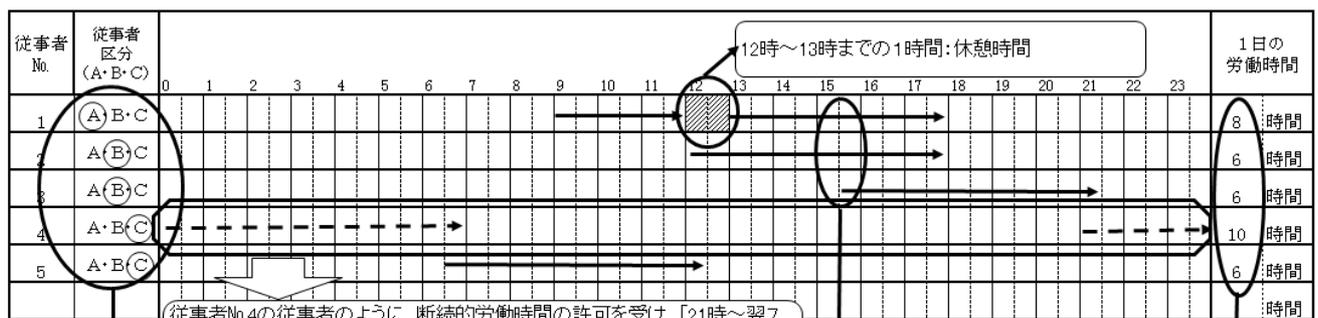
業務従事者配置計画書(様式 1-4) 記載要領

「業務従事者配置計画書(様式 1-4)」は、通常の業務日における平均的な業務従事者の配置計画となります。

記入にあたっては、次の事項に沿って作成してください。

項目名	説明
従事者 No.	「1」から始まる連続番号を付記してください。 なお、「業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)」に記載した業務従事者毎に付番した「従事者No.」と連動する必要はありません。
従事者区分	業務従事者賃金支給計画書記載要領の従事者区分を参考に、該当する業務従事者区分に「○」を付してください。 なお、本計画書は、あくまでも平均的な1日当たりの業務従事者の計画配置数を把握するものですので、「業務従事者賃金支給計画書(様式 1-2)」に記載した業務従事者について、すべて記載する必要はありません。 (例) 1日当たり3人を配置予定の業務において、当該業務を4人のサイクルで履行していく場合、勤務する3人の平均的な配置時間数を記入してください。
その他	1 深夜 24 時を越え翌日までの勤務の場合には、同行の左端0時から続けて記入してください。 2 1日当たりの労働時間は、休憩時間を除く実際の労働時間(賃金の支給対象となる労働時間)を、記入してください。 3 監視・断続的労働(労働基準監督署から許可を受けているもの)は、賃金を支払うべき労働時間と見なしますので、1日の労働時間に含めて記載してください。 4 「上記時間帯に係る従事者区分の人数」には、1時間単位で従事した延べ人数を記載してください。(勤務開始又は終了時間が「〇〇時 30 分」のように、1時間に満たない時間であっても、1時間として延べ人数に計上してください。)

【記載例】



従事者No.4の従事者のように、断続的労働時間の許可を受け、「21時～翌7時」の勤務になっている場合には、同行の左端0時から続けて、点線矢印「- ->」で記載してください。

休憩時間を除いた労働時間(賃金を支払う時間)を記載してください。

1時間あたり業務に従事した人数を記載してください。

上記時間帯に係る従事者区分の人数(1時間単位で記載)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
A	1									1	1	1		1	1	1									8
B	2												1	1	1	2	2	2	1	1	1	1			13
C	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1								1	1	1	17
合計	5	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	1	1	1	2	1	1	36